

政府が公的助成を受けた研究に対するアクセスを改善すべきであることを OECD の報告書は見いだしている

Governments should improve access to publicly funded research, finds OECD report
http://www.oecd.org/documentprint/0,2744,en_2649_34487_35397879_1_1_1_1,00.html

22/09/2005 - 新刊の OECD の科学出版産業についての報告書 1)によれば、政府が研究知見をもっと広範に利用可能にするならば、政府は技術革新を促進し、公的助成を受けた研究からもっと利益を得ることになる。

オンラインで利用可能な研究データの増加は、研究実務を変革しつつあり、一次データ資源 (primary data sources) を直接アクセス可能にしようとする傾向の高まりは、科学出版産業のビジネスモデルを変革しつつあることを報告書は見いだしている。

報告書の知見は次のものを含む。

- ・ 科学出版は早い時期にオンライン配布を受け入れ、出版された学術雑誌のうち約 75% が既にオンラインで利用可能である。そして、電子デリバリーによる 3 種類の主要なビジネスモデルが登場しつつある。
 - いわゆる「ビッグディール」: 機関及びそれ以外の購読者が、ライセンス契約を通じて、オンラインのデジタルコンテンツの集合体へのアクセスに支払を行う。
 - オープンアクセス出版: 著者及び雇用者あるいはそのいずれかの一方、もしくは助成機関が出版物の費用の一部または全額を支払う。
 - オープンアクセス及びリポジトリ: 組織が機関リポジトリ及び主題アーカイブあるいはそのいずれか一方を支援する。
- ・ 変革を動かしている者: ますます量が増加している研究データ及び情報にアクセスする必要を持つ利用者、新しい ICT の適用並びにデジタルコンテンツ及びデジタルアクセス技術の発展、情報の出版及び配布における費用の非常な透明性と競争。
- ・ 近い将来、「著者支払 (author pays)」及び一連の混合 (hybrids) の出現を含む、オープンアクセス出版の様々なバージョンを巡る実験の時期があるように思われる。

勧告の一部は次のとおりである。

- ・ 政府は、公共投資に対する社会還元を最大化するために、公的助成を受けた研究の知見に対するアクセスを増加させるべきである。
- ・ この原則は、科学の進展及び研究者の訓練を容易にするデータへのオープンアクセス及び無制限の利用を認識した、2004 年の OECD 科学相の「公的助成による研究データへのアクセスに関する宣言」²⁾に明確に示されていた。
- ・ 公的助成を受けた研究によるデータへの広範なアクセス並びに科学研究及び技術革新への貢献のため、国レベル及び国際レベルでの共同努力が必要である。

より詳しい情報の問い合わせは、Graham Vickery 及び Sacha Wunsch-Vincen に行うこと（電話 +33 1 45 24 86 11）。本調査は、デジタルコンテンツについてのプロジェクト³⁾の一部である。

注

- 1) OECD. Directorate for Science, Technology and Industry. Committee for Information, Computer and Communications Policy. Working Party on the Information Economy. *Digital Broadband Content: Scientific Publishing*. OECD, 2005-09-02. (DSTI/ICCP/IE(2004)11/FINAL)
<<http://www.oecd.org/dataoecd/42/12/35393145.pdf>>
- 2) 以下のプレスリリースを参照。
<http://www.oecd.org/document/0,2340,en_2649_34487_25998799_1_1_1_1,00.html>
- 3) 以下を参照。
<http://www.oecd.org/document/62/0,2340,en_2649_34223_32160190_1_1_1_1,00.html>